

講義コード Course code	0F9005101		
講義名 Course title(Japanese)	政策学 I (総論)		
英文講義名 Course title (English)	Policy Sciences I (Generalities)		
(副題) Course subtitle	〔法学部専門科目〕		
開講責任部署			
講義開講時期 Semester(s)	後期		
講義区分 Type	講義		
単位数 Credit hour(s)	4		
時間 Total hours	0.00		
代表曜日 Day	火曜日		
時限 Period	1 時限		
担当教員 Lecturer(s)			
職種 (専任教員・非常勤教員) Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	児玉 博昭	◎	法律学科

授業の内容 (主題)

Course description

公共政策学は、公共政策、すなわち公共的な問題を解決する基本的な方向性と具体的な手段を考察する学問である。公共政策学は、大別すると、政策決定や実施・評価という政策過程に関する知識 (ofの知識) と、政策分析に必要な知識や個別政策領域に関する知識 (inの知識) によって構成される。この講義では、前者の政策過程論 (ofの知識) に重点を置き、公共政策へのアプローチ、公共政策のデザイン、プロセス、ガバナンスに関する基礎知識を整理する。

到達目標

Course objectives

公共政策はどのようにデザインされ、決定され、実施・評価されるのかを理解できるようになることを目標とする。

授業計画表

Course plan

回 Class sessions	内容 Topics
第1回	授業のねらいと進め方 (予習60分：シラバスと教科書の確認、復習60分：講義の要点把握)
第2回	公共政策学とは何か(1)：公共政策学の誕生と2つの知識 (予習60分：教科書の通読と疑問点の抽出、復習60分：講義要旨の作成)

第3回	公共政策学とは何か(2)：3つの時期、3つのアプローチ（予習・復習：同上）
第4回	公共政策とは何か(1)：政策問題と公共政策、公共政策の基本構造（予習・復習：同上）
第5回	公共政策とは何か(2)：公共政策の種類（予習・復習：同上）
第6回	アジェンダ設定(1)：アジェンダ設定理論、アジェンダを動かすもの（予習・復習：同上）
第7回	アジェンダ設定(2)：アジェンダ設定から政策決定へ（予習・復習：同上）
第8回	政策問題の構造化(1)：問題構造への注目、構造化の伝統的手法（予習・復習：同上）
第9回	政策問題の構造化(2)：議論・解釈による構造化（予習・復習：同上）
第10回	公共政策の手段(1)：直接供給と直接規制（予習・復習：同上）
第11回	公共政策の手段(2)：誘引、その他の手段（予習・復習：同上）
第12回	規範的判断(1)：政治と価値、公平、効率性、安全・安心、自由（予習・復習：同上）
第13回	規範的判断(2)：価値の対立と政策の判断基準（予習・復習：同上）
第14回	政策決定と合理性(1)：合理的意思決定の構造、政策決定の合理化への試み（予習・復習：同上）
第15回	政策決定と合理性(2)：合理的意思決定の限界（予習・復習：同上）
第16回	政策過程の実際(1)：キューバミサイル危機（予習60分：事案の把握、復習60分：感想文の作成）
第17回	政策過程の実際(2)：アリソン『決定の本質』（予習60分：問題の検討、復習60分：解説の理解）
第18回	政策決定と利益(1)：利益調整としての政策決定過程、利益・選好をどう考えるか（予習・復習：同前出）
第19回	政策決定と利益(2)：どのような利益が政治において代表されるか（予習・復習：同上）
第20回	政策決定と制度(1)：新制度論の台頭（予習・復習：同上）
第21回	政策決定と制度(2)：制度による影響（予習・復習：同上）
第22回	政策決定とアイディア(1)：アイディアの概念（予習・復習：同上）
第23回	政策決定とアイディア(2)：アイディアによる影響、政策へのプロセス（予習・復習：同上）
第24回	公共政策の実施(1)：政策実施の位置付けと構造、実施の現場（予習・復習：同上）
第25回	公共政策の実施(2)：実施研究のアプローチ（予習・復習：同上）
第26回	公共政策の評価(1)：評価のロジック、政策評価の種類と機能（予習・復習：同上）
第27回	公共政策の評価(2)：政策評価の政治性と参加（予習・復習：同上）
第28回	公共政策管理のシステム(1)：市場メカニズムの活用（予習・復習：同上）
第29回	公共政策管理のシステム(2)：地方分権と政策波及・政策革新、ガバナンス論（予習・復習：同上）
第30回	授業のまとめ（予習60分：期末予想問題の検討、復習60分：講義の要点把握）

授業計画コメント

Course outline

政策過程に関する概念的な整理が中心となるが、政策過程の具体例を取り上げた映画なども見ていきたい。

授業の進め方

Session plan

教科書に沿って講義を進める。

アクティブラーニング

Active learning

授業終了前に確認問題で内容の理解度を確認する。

実務経験を活かした授業内容

Course contents based on related work experiences

教員には、シンクタンクの研究員や自治体の参与・審議会委員として実際に政策研究に携わった経験がある。授業では、教員の実務経験を活かした具体的な説明を心がける。また、国会議員や官僚などの関係者を講師に招き、政策過程の実際を講義してもらう予定である。過年度は、知事選や衆院選を取材する地元の新聞記者をゲストスピーカーに招き、選挙の争点を解説していただいた。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

授業前に教科書の該当箇所を通読し、疑問点を明らかにすること。また、授業後にレジュメや板書を参考に要点を整理しておくこと。各回の予習・復習以外に、レポートの作成に30時間、期末試験の勉強に30時間程度を必要とする。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	公共政策学の基礎 (第3版)	秋吉貴雄・伊藤修一 郎・北山俊哉	有斐閣	2020年	2,860 円	978- 4641184497
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの)

Materials required for sessions

教科書を進賢堂販売などの書店等で各自購入すること。

参考図書

Reference book(s)

『公共政策学とは何か(BASIC公共政策学1)』足立幸男、ミネルヴァ書房、2009年、3500円ほか同シリーズ

成績評価方法および評価基準

Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	50%	0%	50%	0%

成績評価の方法に関する注意点

Assessment criteria

レポートと学期末試験によって相対的に成績を評価する。レポートは特定の政策過程を考察したものとする。学期末試験は選択式で一定割合を確認問題の中から出題し、持込は不可とする。

課題のフィードバック Feedback
レポート課題については、提出後の授業で講評・解説を行う。
学生へのメッセージ（履修上の心得） Message to students (class guidelines)
授業中に休憩時間を設けるので、積極的に質問してほしい。
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites
前提科目はない。個別領域の政策問題については、「政策学Ⅱ（各論）」で取り扱う。政策学総論の基本編である。
キーワード Keyword(s)
公共政策、政策プロセス、政策デザイン、政策決定、ガバナンス
備考 Other(s)
特になし